

教科・「科目」	工業・「製図」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学・実習	3	機械科履修科目

1. 目標と評価規準

目標	製図の基礎を十分に把握し、機械製図に関する規格を理解して、機械・器具などの図面を正しく読み、作成する能力を養うとともに、設計製図の基礎的な技術の習得を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (25%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械製図について関心を持ち、意欲的な学習活動を行っている。また、課題を遅滞なく提出できている。</li> <li>・まじめな授業態度で、根気強く図面作成に取り組んでいる。</li> <li>・練習ノートの整理が十分にできている。</li> </ul>		学習状況 練習ノート 課題図面提出
思考・判断・表現 (25%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体を正確に平面上に図示することができ、また図面から立体を正しく把握する能力を身につけている。</li> </ul>		学習状況 課題作品等
技能 (25%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製図に関する規格に従って、製作図を正しく、明瞭に、そして迅速に描くことができる。</li> <li>・製図用具を正しく使用できる。</li> </ul>		学習状況 課題作品等
知識・理解 (25%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作図として図面に記入する必要事項(寸法記入・面の肌・はめあいなど)に関して理解している。</li> </ul>		機械製図検定 作品 定期考査等
使用教材等	実教出版 機械製図		

2. 年間指導計画 実教出版 機械製図

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	第5章 簡単な機械・器具の設計製図 1. 設計製図の要点 ①設計の手順 ②設計製図上の注意 ③製作上のくふう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んできた機械製図に関する知識や技能と機械設計で学んだ知識とを融合化し、簡単な器具・機械の設計製図の要点・手法について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板や学習用パソコンを用いて製図例や表の説明や参照に活用する。</li> <li>・図や動画などを電子黒板に提示する。</li> <li>・問題の解決手順などを電子黒板に提示する。</li> <li>・学習用パソコンを用いて演習問題・図や動画などを電子黒板に提示する。</li> <li>・演習問題等を学習用パソコンを用いて解答する。</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
2 学期	9	第5章 簡単な機械・器具の設計製図 2. 機械・器具のスケッチと製図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器具・機械のスケッチの仕方から製作図の作成までについて学習する。</li> <li>・器具や機械を構成しているひとつ一つの部品について形状、寸法、材質、加工方法などを調べ、JISと照合する。</li> </ul>	
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	第5章 簡単な機械・器具の設計製図 3. 機械の設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた仕様(緒元)に基づき、機構の決定から主要部の設計までを行うことで、設計書や構想図の作り方(まとめ方)について学習する。</li> </ul>	
	2			

備考	
----	--